

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年7月4日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社SeaChallenge
所 在 地	〒240-0016 神奈川県横浜市保土ヶ谷区初音ヶ丘 43-20
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 永井 康洋
担 当 者 連 絡 先	電 話：045-744-9481 (担当：西潟葉子)
	メー ル：sch-sensui.sea-challenge.com
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://sea-challenge.net/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要











<p>弊社は、港湾関係の調査や管理業務を中心に以下のサービスを提供しています。陸上および海上・水中構造物の維持管理調査、データ解析・整理、水中ドローン（ROV）の運用、潜水業務、そして BIM/CIM データの作成です。高度な技術と経験豊富なスタッフが最新の機器を駆使し、正確で信頼性の高い調査とデータ解析を行います。これにより、構造物の長期的な安全性と効率的な保守管理をサポートします。</p>
--





3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	海洋環境の保全と汚染防止を目指し、持続可能な管理と保全活動を実施。	海洋環境保全の強化による生物多様性の保護。
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	地域社会との連携を強化し、安全で安心な港湾利用環境を提供。	港湾施設の持続可能な管理と効率的な運営。
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	高度な技術を駆使して効率的な港湾施設の維持管理を行い、経済発展を支援。	地域社会との協働による安全・安心な港湾利用の促進。

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・差別禁止に向けて多様性とインクルージョンの推進、公平な労働環境の提供、教育と啓発活動を実施しています。これにより、全ての従業員に対して公平で差別のない職場環境を確保しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・セクハラ、マタハラ、パワハラ等の防止のためのルール整備、教育実施、相談体制の確立、就業規則への明記を行います。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・ISO45001に基づき、安全衛生管理体制を確立し、定期的なリスク評価と改善活動を実施。労働時間の適正管理と過重労働防止に取り組んでいます。								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・ISO45001に基づき、安全衛生管理体制を整備し、定期的なリスク評価と改善活動を実施。従業員の安全と健康を確保し、労働災害防止に努めている。			3					8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・ISO45001に基づき、メンタルヘルスケアの体制を確立し、定期的なストレスチェックとカウンセリングを実施。従業員の心身の健康を支援している。			3												
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・ISO45001に基づき、多様性と包摂を推進し、公平な採用と評価制度を導入。安全で働きやすい環境を提供し、多様な人材が活躍できる職場を実現しています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・ISO45001に基づき、安全衛生教育を実施し、従業員のスキルアップを支援。定期的な研修と資格取得支援を通じて、労働環境の改善と人材育成を推進しています。				4	5.5			8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる				3					8							
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・リデュース、リユース、リサイクルの3R活動を推進。廃棄物削減のためのリサイクルプログラムを導入し、資源の有効利用と環境負荷低減に努めています。											11.6	12.4 12.5		14.1	
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・再生可能エネルギーの導入とエネルギー効率の向上を推進。省エネルギー設備の導入やエネルギー管理システムの活用により、CO2排出削減に努めています。							7.3						13		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・温室効果ガス排出削減のため、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用を推進。定期的な排出量モニタリングと削減目標の設定を行っています。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・有害化学物質の使用を最小限に抑えるため、安全な代替物質の採用と管理体制を強化。定期的な監査と社員教育を通じて、環境負荷の低減に努めています。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・地域の生態系保護のため、植樹活動や自然保護区域の整備を推進。持続可能な漁業と海洋資源管理に取り組み、生物多様性の保全に努めています。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・再生可能エネルギーの利用、省エネルギー設備の導入、廃棄物削減を推進。地域の生態系保護や環境教育を通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・地域社会との共生を図るため、地元企業との連携や地域イベントの支援を行い、地域経済の活性化に寄与。地域のニーズに応じた社会貢献活動を展開しています。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる				4								11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDG s の達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・内部統制の強化とコンプライアンス遵守のため、定期的な監査と教育プログラムを実施。透明性の高い報告体制とリスク管理を確立し、信頼性のある組織運営を行っています。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・法令順守の徹底を図るため、社内規程の整備と定期的な法令教育を実施。コンプライアンス委員会を設置し、違反防止と内部監査の強化を推進しています。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	・ステークホルダーとの定期的な対話を通じ、ニーズや期待に応える施策を展開。透明性のある情報共有を行い、協力関係を強化し、持続可能な社会を目指します。																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・ISO45001に基づき、リスクアセスメントを定期的実施し、潜在的な危険を特定。改善策の立案と実施により、安全な労働環境を維持し、リスク管理を徹底しています。																16	
33	【社会的責任】 ・C S R (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・ISO45001に基づき、従業員の健康と安全を確保し、地域社会との協力を強化。安全衛生教育の実施と定期的なリスク評価を行い、持続可能な事業運営を推進しています。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している										9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・事業継承の円滑化を図るため、後継者育成プログラムを導入し、計画的な人材育成を実施。継承計画の策定と定期的なレビューを行い、事業の安定的な継続を確保しています。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】  
・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。  
・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)  
・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。  
・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。  
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。  
・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。  
・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

令和 7 年 9 月 15 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 〒240-0016 神奈川県横浜市保土ヶ谷  
区初音ヶ丘 43-20

名称： 株式会社SeaChallenge

代表者： 代表取締役 永井 康洋

登録年月日： 令和 6 年 9 月 30 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	海洋環境の保全と汚染防止を目指し、持続可能な管理と保全活動を実施。	海洋環境保全の強化による生物多様性の保護。	ROV の活用により潜水作業の効率化を進め、作業船の稼働時間削減による CO <sub>2</sub> 排出低減につなげる取り組みを開始。今後は削減効果を測定し定量化する予定である。
□環境 ✓社会 □経済	地域社会との連携を強化し、安全で安心な港湾利用環境を提供。	港湾施設の持続可能な管理と効率的な運営。	港湾施設の調査・点検情報をデジタルで一元管理する体制を構築中。記録様式と運用手順を標準化し、情報共有の迅速化と維持管理の効率化を図っている。
□環境 □社会 ✓経済	高度な技術を駆使して効率的な港湾施設の維持管理を行い、経済発展を支援。	地域社会との協働による安全・安心な港湾利用の促進。	ROV を用いた潜水調査により、コスト削減と精度向上を両立。効率的な港湾施設維持管理を進めている。